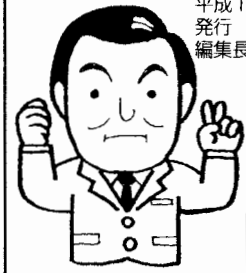


まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治版**



平成15年7月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

No.2

問合せ●横浜市中区野毛町2-65 電話045-241-7800 FAX045-253-0585 ホームページ www.jun.or.jp

「ライバルは、六本木ヒルズ」 頑張る横浜の商店街を応援したい!

「元町」といえば、横浜を代表する商店街であり、全国に通じるヨコハマブランドでもあります。

先日まで、協同組合元町SS会の理事長を務めていた宝田良一さんは、4月の神奈川県知事選に自民・公明・保守各党の推薦で出馬しました。私も応援に奔走し、毎日顔を合わせていましたが、あの激しい選挙戦の最中に、元町ではあるプロジェクトが最後の詰め段階に入っていました。

来年の2月、横浜駅から元町までの「みなとみらい21線」が開業します。MM21線は東急東横線と相互乗り入れし、元町と渋谷という2つの“ファッションタウン”が一本の鉄道で結ばれます。それに備えて、元町では20年ぶりというリニューアル計画が進行していたのです。

宝田さんは、このプロジェクトについて、こんなことを言っていました。

「今、なぜ元町をリニューアルするのか?『元町はみなとみらいに客を取られてダメになったからだ』と言う人がいますが、そうではありません。ダメにならないために、今、手を打つのです。それに、みなとみらいは同じ横浜にあって、手を携えていかなければならない街でこそあれ、競合する相手ではありません。私たちのライバルは、六本木ヒルズなんです」

東京では今、あちこちで街の再開発が行われていますが、その象徴が、4月にオープンしたビジネスとショッピングの複合施設「六本木ヒルズ」です。大手ビル会社が社運を賭けて完成させた、その“巨人”に戦いを挑もうという元町の商店主さんの意気に、私は感激しました。

宝田さん達はしかも、そのプロジェクトの立案を、宝田さんの長男の博士さんをはじめとする20歳台、30歳台の若い後継者たちに託しました。

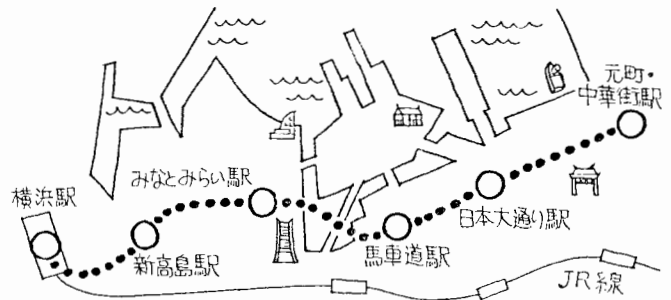
こうしてできあがった「ライブタウン事業」は、第1期として、MM21線の「元町・中華街駅」周辺を新しいエンターランスとして整備し、各街区に休憩スペースを設けるそうです。街のブランドマークも、若い人たちの感覚によって一新されました。

「頑張れ、元町! 私たちも一生懸命応援するぞ」
そんな気持ちになりませんか。

そういえば、元町と並んで駅名となった中華街ではこの2月、元町・中華街駅に一番近い街の入り口に「朝陽門」が完成しました。中華街では8つ目のウエルカムゲートで、最大の門です。

「朝陽門は日の出を迎える門。朝日が街全体を覆い繁栄をもたらす」この門には、そんな願いが込められています。そして、元町と中華街は、MM21線の開業を記念するイベントを協力して行う計画です。

横浜の経済は、長い低迷にあえいでいます。私の知り合いのお店の店主さんは「商売を始めて以来、こんな不景気は経験したことがない」と口をそろえて言います。確かにそのとおりだと思います。そんな時期だからこそ、地域活性化のために挑戦する中区や磯子区、金沢区の商店街の皆さんを応援し、その力になることが、私の使命だと思っています。





「みんなの声／国政に届け！」実施中 松本純あてFAX 045-253-0585

政治は市民のもの。私たちの声が形に、理解・納得できる政治を求めよう！
「みんなの声」は、そんな思いから始まりました。
これまで届いた声を随時、紹介していきます。

●景気の低迷に入って10年以上となり、企業経営も悪化の限界にきています。早く脱出したいと画策していますが、中小零細企業では自力での改善には限界があり、いかんともしがたく、このままでは先が真っ暗やみに見えてきます。一日も早く政府の良策で改善できるよう切望します。(磯子区 男性)

☆まったくその通りですね。私も小さな薬局を運営していますが、売り上げの推移をみると大変厳しい状況にあることを実感しています。早速、党政調にお伝えします。(純)

●銀行の貸し出しの厳格化は、さらに厳しさを増しています。特に中小零細企業に対しては、都銀・地銀・金庫すべての金融機関とも貸し出しを渋っているように思えてなりません。ある銀行の決算を見ると、収益は大幅に落ちているのに、預金残高が前期より倍近くもあるということは、これを証明していると思われます。(金沢区 男性)

☆そもそもBIS規制でしばって、もう一方で貸し出せということが無理な話。財務省と経済産業省が別々の財布を持って、アクセルとブレーキを分けなければ、と考えています。(純)

●私は、先の選挙で貴殿に一票を投じた者です。次点ということでたいへん残念です。今後の活躍を期待しています。さて、日本のテロに対する対策はどのようになっているのか不明です。事が起こってから対策を行うのが、テロに限らずいろいろの面で見受けられます。後追いではなく、事前対策にもっと力を入れてほしい。(金沢区 男性)

☆情報収集能力のレベルをもっと上げなければなりません。あわせて、縦割りの役所が横断的に危機対応できるシステムを向上させることが大切。皆さんのご心配を党政調にお伝えします。(純)

●私は選挙権を持つようになってから、一貫して自民党でしたが、最近自信が持てなくなりました。いつまでも高齢の議員がハバを効かせているようでは、若い人達がのびないのではないですか。(中区 女性)

☆う～ん、そうですね。党としては衆院73歳、参院70歳を越えた者は公認しないと決め、いわゆる定年制をつくりました。しかし、一部には総理経験者などは特別扱いすべきという意見もあり、間もなく始まる衆院選公認決定時の党の決断が注目されます。私は例外は認めない方が良く考えます。(純)

●前回の落選の総括は、きわめて一般論に終始していた。そして、貴君の次回衆院選への挑戦の言も、また一般的かつ凡庸であった。われわれが求め、そして評価するのは、(政治屋ではなく政治家に対する)「志」と「その具体的結果」である。一度、この観点で、貴君のこれまでの経緯をまとめられてはいかが。(相模原市 男性)

☆「志」と「その具体的結果」という観点から、改めて過去を振り返り、もっと具体的に自分のやりたいことを整理したいと思います。特に思い入れを持っているのは社会保障制度で、国民負担率50%で、長期にわたり維持できる制度の抜本的改革が必要だと考えています。(純)

まつもと じゅん プロフィール



昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ。本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師。製薬会社を経て、(有)松本薬局に入社。現在は代表取締役。本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長として、街づくりや地域活動に取り組む。平成2年、横浜市議中区補欠選で初当選、3期務める。平成8年、衆議院総選挙で神奈川1区当選。専門を生かして医療・福祉・介護・年金などに全力投球。平成12年の総選挙で次点落選。現在は自民党衆議院神奈川1区支部長として国政復帰奮戦中。